

百四十一人、准組合員は千
百三十三人の計千七百七十
四人だった。

鳥羽市長選あす生旦小

11日に投票

鳥羽市長選は四日、告示
される。ともに無所属で、
再選を目指す現職の中村欣

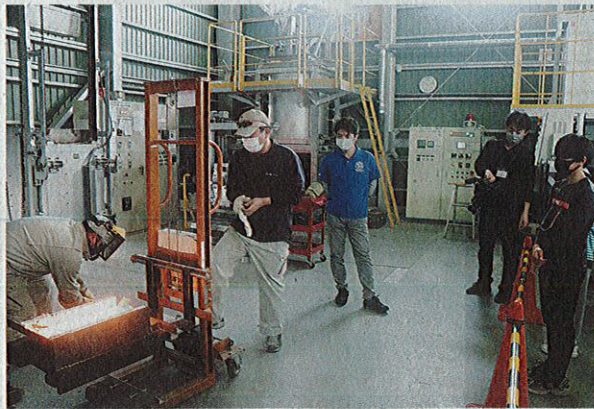
一郎さん(公)＝自民推薦＝
と、新人で元市議の小久保
純一さん(公)の二人が立候
補を表明している。投票票
は十一日。

市長選は二〇〇五年四月

高台の自宅敷地で天目干した養殖ワカメの姿を見る出間さん
鳥羽市や地元漁協などがブランド化した「答志島のトロさわら」＝いずれも鳥羽市で

菰野のガラス工場見学

北勢地方の小中高生ら



熱を帯びて赤くなったガラスに見入る子どもら＝菰野町永井の三重フリットで

地域の子どもたちに楽し
んでもらおうと、ガラスの
製造販売を手掛ける菰野町

永井の「三重フリット」が

二日、工場見学会を開い

た。子ども食堂などを手掛

ける桑名市のNPO法人

「太陽の家」の呼び掛けで

集まった北勢地方の十一人
の小中高生が参加した。

子どもたちは、森田耕平

社長(四)からガラスの製造

方法について説明を受け、

工程の一部を見学。赤く熱

せられた液状のガラスが型
に流し込まれる場面に見入

に選挙戦が行われた以降
は、三回連続で無投票。十
六年ぶりに選挙戦となる。
新型コロナウイルス感染症
の影響を受ける地元経済の
活性化などが争点になると

った。砂を吹き付けてデザ
インを形作る技法「サンド
ブラスト」も体験した。

友人に誘われ参加した家
田真花さん＝朝日町朝日中
三年＝は「身近にあるもの
がこれほど手間をかけて作
られていたとは」と驚いた
表情。森田社長は参加者の
大きな反応に喜び、「今後
も子どもたちの将来のため
になることがあればやり
たい」と手応えを口にし
た。

見学会は、子どもたちの
活動や子育て家庭を応援す
る県内企業や市民団体でつ
くる「みえ次世代育成応援
ネットワーク」が実施。会
員同士が協力して取り組む
「マッチングプロジェクト」
の第一弾だった。

(神尾大樹)

みられる。

三月一日現在の選挙人名

簿登録者数は一万五千七百
二十九人。

(北浜修)

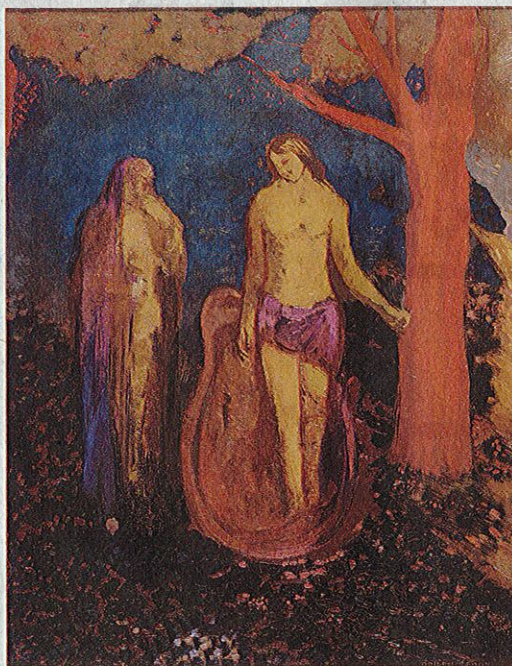
と、もう一つの基幹産業へ
の波及効果も狙っている。
(北浜修)

サロシゴロサロ

「アレゴリー―太陽によって赤く

染められたのではない赤い木」

オディロン・ルドン



1905年 46.0×35.5㍍

のたま着

画家であるオディロン・ルドン

(一八四〇―一九一六年)は、色

彩に頼らない独創的な世界観の作

品を多く制作してきたが、五十歳

を過ぎてから、鮮やかな色も用い

るようになった。本作品は彼が六
十五歳の時に制作した油彩画であ
る。この何か深い含みがありそう

な作品タイトルは、いつ誰によっ

てつけられたのか分かっていな

い。多くの謎に包まれており、研

究者たちによって様々(さまざ

ま)な考察がなされている。

全体的に暗く深めの色調の中で
ぱっと目を引く赤い木と、目殻の
ようなものに乗り腰布のみを身に

死亡男性の身
伊賀市下柘植の名
り線て1日に起き
故で、県警高速隊
死亡した男性が、
児市瀬田、運送業
さん(51)だった、